

令和2年度第1回 西濃圏地域医療構想等調整会議 主な質問・意見

番号	圏域	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	西濃	議題5	西美濃厚生病院から西濃病院に変わることについては、医師会でも協議しており、本来は病院が近くにあるというのが住民にとっていいことであるが、全体のことを考えれば西美濃厚生病院が縮小、急性期機能がなくなることに関して、やむを得ないと受けとめている。急性期に関しては、大垣市民病院にお世話になると思うため、よろしくお願ひしたいと思っている。この変更に関して、大きな問題はないと認識している。	
2	西濃	議題5	西美濃厚生病院の外来機能はどうなるのか。	西美濃厚生病院に関しては、外来機能はなるべく充実させるように、若干、診療科が減り、今までよりは診察の数、診療室の数が減るとは思うが、外来機能を極力維持したいと考えている。(揖斐厚生病院)
3	西濃	議題5	揖斐郡の人口減少の現状、揖斐厚生病院にかけるお金、今後の状況を考えると移転するしかないと思う。住民は反対するが、今のところまだ残った揖斐厚生病院をどうするか、はっきり決まっていなくて、そこがはっきりするとまたいろいろな問題が出てくるかと思っている。	外来機能はどこまでできるか医師の充足状況によって変わるが、地域の行政、地域住民と話をし、日常診療に支障がかからない形をとっていきたいと考えている。(揖斐厚生病院)
4	西濃	議題5	新しい病院と旧病院の関係はどうか。医師を交流させるとか。	新しい病院から医師を派遣して、外来機能等を補填するという考えはある。(揖斐厚生病院)
5	西濃	議題5	大垣市内でも南方の開業医は、西美濃厚生病院に外来や入院をお願いする等の連携はあったが、再編後はそういう連携が少なくなると思う。あと一つ危惧するのは、急性期の病床がなくなるということ。救急外来が、たぶん大垣市民病院でお願いすることになり、救急車の搬送が増えると思うが、そこの連携をうまくやっていたら、大垣市内ですごく大きな影響が出ることは、開業医に関してはないと思う。あくまで病院との問題になると思っている。	
6	西濃	議題5	二つの病院をもとにデザインされているが、今まであったものを減らすことにより、急性期は減らしていくとあるが、一方回復期を増やし、計画とか国の指導とかに沿ったものであり、今後どうしていくのか、そういったお考えがあるか教えていただきたい。	西美濃厚生病院において、急性期病床をなくし回復期、地域包括病床と回復期リハになる。そのため、かなり大垣市民病院に急性期をお願いする方が出てくる。この急性期で治療を終えた方の南部地域の人、そういう方を在宅に持つための回復期、リハビリを中心の回復期、そういうものを西美濃厚生病院では考えている。診療に関しては、揖斐厚生が回復期や療養病床を持っており、その機能が揖斐地区からなくなることで、その機能を新病院の方に持っていきと考えている。地域包括ケア病棟は理念にあるように、急性期とは言わないが、急性的な疾患の、疾患の重い軽いによって、場合によっては対応できるものによっては、地域包括ケア病棟で対応することになっていたと思う。そういうことは、西美濃厚生病院に変わった段階でも対応するため、医師の確保状況等を見ながら、西美濃厚生病院、新しい西濃厚生病院も、地域包括ケア病棟のできた意味合いをよく踏まえながら、総合的にやっていきたいと思う。(揖斐厚生病院・厚生連)
7	西濃	議題5	このような2つの病院の統合については、西濃地域だけではなくて岐阜地域等、そういった大きな形で考えているのか。	他の地域について、具体的なことを述べることは差し控えていただくが、それぞれの地域の医療の方々、相談しながら進めていきたいとは思っている。(厚生連)
8	西濃	議題5	民間病院は経営を考えなければいけない。大垣市民病院は完全に急性期でやられて、回復期を手放される。ところが新病院は急性期、回復期、慢性期、全部をやるということになると、競合するところがある。例えば、新病院ができると、当然、岐阜の南の方や本巣とか完全に影響を受ける。地元の方の考えとしては、駅の南と北では患者の動きが違い、今は駅の北の方は病院がないから、多分北から南に来てると思うが、北の新病院ができれば皆さん行かれると思う。急性期、回復期をきちんと色分け、すみ分けをしてもらいたい。	急性期医療に関しては、今は西美濃厚生病院、揖斐厚生病院で、医師不足のため、かなり制限している現状だが、新病院ではその地域の急性期に関してはきっちり見るという体制を考えている。回復期病床をもつが、基本的には回復期の患者は、その地域に早く戻しそこでリハビリをやるべきと考えるため、例えば、他の地域の急性期患者が来たとしても、回復期になった段階で、連携を通して、そういう地域でリハビリや在宅へ戻すという考え方で診療を行いたいと考えている。(揖斐厚生病院)

令和2年度第1回 西濃圏域地域医療構想等調整会議 主な質問・意見

番号	圏域	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
9	西濃	議題5	お互いに共存していける方策が必要なので、十分に話し合い、やっていただきたい。お互いにウィンウィンになれる話し合いを、常におられることが大事だと思うため、そういう関係を維持していただければいいと思っている。	医師については、大学人事等で動くため一概には言えないが、他の医療スタッフについては、引き抜きはやらない。揖斐厚生病院の病院機能は、多くは新しい病院、それから西美濃厚生病院に関しては、看護師も含めて、スタッフは削減する。その削減したスタッフを新しい病院に持っていく。厚生連は、看護学校を持っているため、そのルートを使って、新病院のスタッフを集めようと考えている。(厚生連)
10	西濃	議題5	海津市は西美濃厚生病院にずっとお世話になり、急性期を助けていただいたという歴史がある。西美濃厚生病院がなくなること、住民も一部では困っているということを知っている。その方々は、大垣市民病院へ移られると思う。	
11	西濃	議題5	関ヶ原町は来年からは病床がゼロになる。関ヶ原町では、入院する施設が1つもなくなるため、今までは博愛会病院、西美濃厚生病院に頼むことが多かった。西美濃厚生病院は、一応慢性期を残すということではとっている。	
12	西濃	議題5	神戸町に関しては、距離的には同じような形になるので、新病院と大垣市内の病院に患者の流れは分かれるかもしれない。	
13	西濃	議題5	今回、機能を再編されるということだが、人間ドッグの機能は、今まで通り維持されるか。それとも縮小あるいは廃止されるのか。	西美濃厚生病院において健診事業は継続する。揖斐厚生病院においては新病院の方に移行する。循環検診もやるので、今までより健診のサポート体制はもっと充実する。西美濃厚生病院の健診センターは、建物内で一番新しい施設で、充実した施設のため、もし医師派遣が厳しければ、新病院から人を派遣してでも健診事業を継続するため、この地域の健診はしっかりやっていきたい。(揖斐厚生病院)
14	西濃	議題5	西美濃厚生病院に、上石津の国保診療所をお願いしているが、新しい病院になっても、引き続きやっていただけるのか。	今までどおり上石津の診療に関しては、西美濃厚生病院でサポートする。(揖斐厚生病院)
15	西濃	議題5	西美濃厚生病院は、病床数を減らして、急性期は新病院へシフトして、介護医療院へ56床転換し、全体はほとんど一緒ということか。	全体として、今315床あるのを、196床にする。60床くらい減らす。全体の病床数は56床削減する。2020年の3月現在の病床数として、合計596床。これを新病院と西美濃厚生病院合わせて540床。マイナス56床。厚生連全体で西濃圏域で、ベッド数は減らす。(揖斐厚生病院)
16	西濃	議題5	病院歯科の維持はどうか。開業歯科医としては、病院歯科を非常に重要と思っているので、維持いただきたいと思う。	大学病院の歯科口腔外科と相談しており、新病院での口腔外科に軸足を移すか。口腔外科診療を行うか考えていく。(揖斐厚生病院)
17	西濃	議題5	揖斐厚生は院外処方、西美濃厚生は院内。イメージとしては西濃厚生さんは恐らく、院外処方と思うが、位置が大野町なので、西濃圏域と病診、薬薬連携されると思うが、本巢等岐阜圏域との薬局連携もあると思うが、その辺りもう少し、お話いただきたい。	新病院では、揖斐厚生病院と同様に院外処方を計画し、連携をとってやっていきたいと考えている。(揖斐厚生病院)
18	西濃	議題5	この病院の再編で一番心配なのは、大垣市民病院に西美濃厚生病院からの患者が流れ、大変になること。揖斐の方は、大垣に行っている方はそのまま、新しい病院もそのままに、患者が行くだろうという流れを持って見ていた。普通は川筋だが、ここ西濃の場合は、JRという電車の線路を越えての移動というのは、大変問題があると思うので、患者の移動と医療体制を、もう一度よく考えていただきたい。今度の病院は、岐阜市や岐阜近郊にかなり影響すると見ていたが、岐阜圏域でもあまり問題にはならなかったもので、このままでいいかと思う。(議長)	
19	西濃	アドバイザー	順調に進んでいるようで、皆様方の腕が問われていると思うため、歩きながら修復していくことがあると思うが、今後も順調にいくことを願っている。	
20	西濃	議題5	新しい病院ができることで、今後どうなることかと心配をしていたが、あまり大変な問題にもならず、それぞれの先生方がご理解をいただいたが、そう簡単にはいかないと思うため、議論を持続、維持していただきたい。特に大垣市民病院は、南の方の患者が増えて外来機能が混乱することがなければいいと思っているので、周りの病院の先生方、開業医の方、協力しあうという議論を十分に尽くさないと医療崩壊につながるので、よろしく願いたい。(議長)	